

## 秋田市のまちづくりに関するアンケート調査結果（概要）

## 1. 有効回答者数

725 人（回収率 48.3%）

	配布数		回収数		回収率 (B/A)
	実数(A)	割合	実数(B)	割合	
20～29歳	173	11.5%	50	6.9%	28.9%
30～39歳	231	15.4%	96	13.2%	41.6%
40～49歳	227	15.1%	79	10.9%	34.8%
50～59歳	267	17.8%	141	19.4%	52.8%
60～69歳	263	17.5%	178	24.6%	67.7%
70歳以上	339	22.6%	181	25.0%	53.4%
計	1500	100.0%	725	100.0%	48.3%

	配布数		回収数		回収率 (B/A)
	実数(A)	割合	実数(B)	割合	
中央地域	284	18.9%	137	18.9%	48.2%
東部地域	261	17.4%	136	18.8%	52.1%
西部地域	189	12.6%	90	12.4%	47.6%
南部地域	219	14.6%	96	13.2%	43.8%
北部地域	304	20.3%	145	20.0%	47.7%
河辺地域	123	8.2%	61	8.4%	49.6%
雄和地域	120	8.0%	60	8.3%	50.0%
計	1500	100.0%	725	100.0%	48.3%

## 2. 調査結果の概要

## 2-1. 居住環境

## (1) 居住環境で重視していること

- ・「買い物（食料品、生活必需品等）の利便性」が全体の 6 割を超え、年代別でもすべての年代において最も重視されている。
- ・地域別では、「河辺地域」と「雄和地域」は「自然の豊かさ」の割合が高いが、それ以外の地域では、「買い物（食料品、生活必需品等）の利便性」が最も高くなっている。

## (2) 地域で不足する施設

- ・住んでいる地域で不足する施設については、全体では、「ない」が 40.7%、「ある」が 35.7%となっている。
- ・「ある」の割合が高いのは、年代別では「30～39 歳（43.8%）」、「50～59 歳（43.2%）」、地域別では「西部地域（42.2%）」、「河辺地域（47.5%）」、「雄和地域（52.5%）」である。

### (3) 必要な施設

- ・必要な施設は、「スーパーマーケット (30.9%)」、「診療所、医院 (29.3%)」、「飲食店・レストラン (28.9%)」の順に割合が高い。
- ・不足する施設が「ある」とした割合が高い「30～39 歳」、「50～59 歳」についてみると、「30～39 歳」は「公園、広場 (16.7%)」を、「50～59 歳」は「診療所、医院 (14.9%)」を、必要としている。
- ・不足する施設が「ある」とした割合が高い「西部地域 (42.2%)」、「河辺地域 (47.5%)」、「雄和地域 (52.5%)」についてみると、「西部地域」は「飲食店・レストラン (18.0%)」、「河辺地域」は「診療所、医院 (26.5%)」、「雄和地域」は「スーパーマーケット (24.7%)」が必要な施設となっている。

## 2-2. 住み替えの意向

### (1) 現在の地域に対する居住意向

- ・そのまま「現在の地域に住み続けたい又は住み続ける」は、全体の 69.8%となっており、「住み替えたい」という割合は、22.8%となっている。
- ・そのまま「現在の地域に住み続けたい又は住み続ける」とする割合はすべての年代で高いが、特に「60～69 歳 (82.2%)」と「70 歳以上 (82.5%)」では 8 割を越えている。地域別では、「中央地域 (74.6%)」、「西部地域 (72.2%)」、「南部地域 (71.6%)」、「河辺地域 (78.0%)」が 7 割を越えている。
- ・「不便を感じていないので住み続けたい又は住み続ける」の割合は、「中央地域 (62.7%)」が他地域と比較して高くなっている。
- ・不便かそうでないかは別に、「住み替えたい」の割合は、「雄和 (26.7%)」が他地域と比較して高くなっている。

### (2) 住み続けたい理由

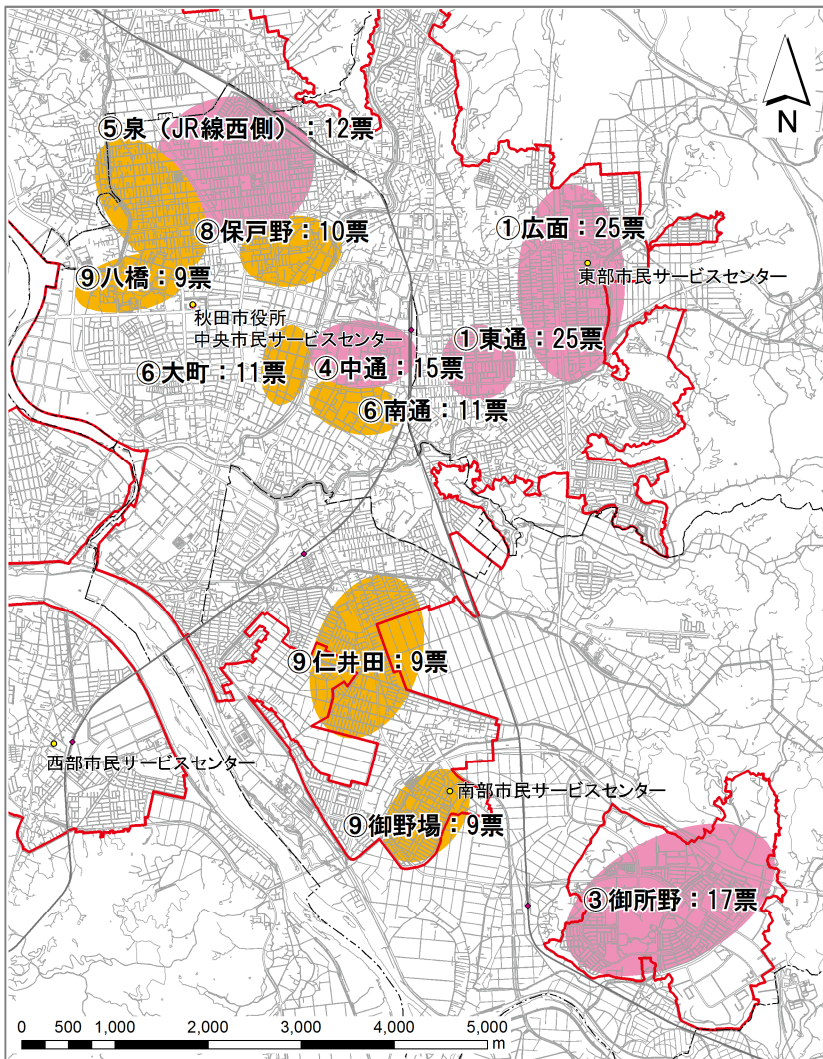
- ・住み続けたい理由の割合は、「買い物や医療など生活に便利 (41.4%)」、「地域に愛着がある (38.8%)」、「住み替える資金がない (28.0%)」の順になっている。
- ・地域別では、住み続けたい理由として「買い物や医療など生活に便利」の割合が高いのは「中央地域」で約 25%と最も高く、次いで「東部地域」が約 20%となっている。
- ・「雄和地域」は、住み続けたい理由として「地域に愛着がある」が約 30%と、他地域と比較して高くなっている。

### (3) 住み替える場合に希望する地域のイメージ

- ・住み替えを希望する地域の条件の割合は、「日常的な買い物が便利な地域」が 72.4%で最も高く、次いで「診療所や医院など医療施設が充実した地域 (41.1%)」、「鉄道やバスを利用しやすい地域 (38.0%)」の順になっている。
- ・年代別、地域別でも、すべて「日常的な買い物が便利な地域」の割合が高い。

#### (4) 住み替える場合に希望する市内の地区

- ・住み替えを希望する市内の地区の割合は、「特にない(19.6%)」と「わからない(10.4%)」を除くと「東通」と「広面」がともに15.3%と最も高い。
- ・「東通」と「広面」は多様なサービスを受けられる地域イメージを持たれている。



順位	アンケート	
	地区名	回答数
1	東通	25
	広面	25
3	御所野	17
4	中通	15
5	泉(JR線西側)	12
6	大町	11
	南通	11
8	保戸野	10
9	八橋	9
	仁井田	9
	御野場	9
12	山王	7
	手形	7
	泉(JR線東側)	7
15	千秋	6
	新屋	6
	外旭川	6
18	茨島	5
	土崎港中央	5
20	横森	4

#### (5) 住み替える場合に希望する居住形態

- ・全体で、「1戸建ての持ち家による新築住宅」が38.9%と最も高い。
- ・「分譲マンション」は、「70歳以上(35.3%)」で割合が高い。

#### (6) 住み替える場合の不安

- ・住み替えにあたって不安に思うことの割合は、「住み替え先の土地・建物の値段や物件情報」が44.9%と最も高く、次いで「住み替え先での近所づきあい(40.4%)」、「戸建住宅又は分譲マンションの購入に際しての資金(34.6%)」の順となっている。
- ・「住み替え先での近所づきあい」の割合が高いのは、「40～49歳(32.6%)」、「50～59歳(17.7%)」である。
- ・「戸建住宅又は分譲マンションの購入に際しての資金」の割合が高いのは、「70歳以上(18.4%)」である。

## 2-3. 交通手段

### (1) 普段の交通手段

- ・ 普段の交通手段の割合は、「自家用車（マイカー）」が 80.3%となっている。
- ・ 「自家用車以外」の割合が高いのは、「70 歳以上（35.0%）」「中央地域（34.6%）」である。

### (2) バスを利用する条件

- ・ バスを利用する条件の割合は、「運行本数の多さ」が 59.4%と最も高く、次いで「ダイヤの便利さ（57.8%）」、「運賃の安さ（50.8%）」の順となっている。
- ・ 「自家用車以外」の割合が高い「70 歳以上」「中央地域」は、「停留所の近さ」の割合が高い。

## 2-4. 自由意見（「コンパクトシティの取組」や「立地適正化計画の策定」について）

- ・ 自由意見は、167 人から 259 件の意見が寄せられた。
- ・ その中で意見が多かったのは、「公共交通（バス）について（56 件）」、「商業施設について（23 件）」、「コンパクトシティに賛成（12 件）」、「駐車場の無料化について（11 件）」、「働く場所・雇用の確保について（10 件）」、「道路整備について（10 件）」となっている。